

トピック その1

「消毒用アルコール
どこまで知っていますか？」



新型コロナウイルス感染防止対策で毎日当たり前のように使っている**消毒用アルコール**。

扱い方を間違えると、火災などの事故の危険性があることを知っていますか？安全な暮らしのために消毒用アルコールについて知っておくべきポイントをまとめました。

消毒用のアルコール今はたくさんあるなあ。

細かい表示はあまり気にせず使っているけどよく見ると…「火気厳禁」と書いてある。

手指のアルコール消毒毎日しているから手が荒れるわ～。

ハンドクリームは必需品だね。

実はアルコールの濃度によっては消防法で定める「危険物」になることを知っていますか？

アルコールを手指につけるとスースーすると思いますが、アルコールが蒸発して熱を奪っているんですよ。

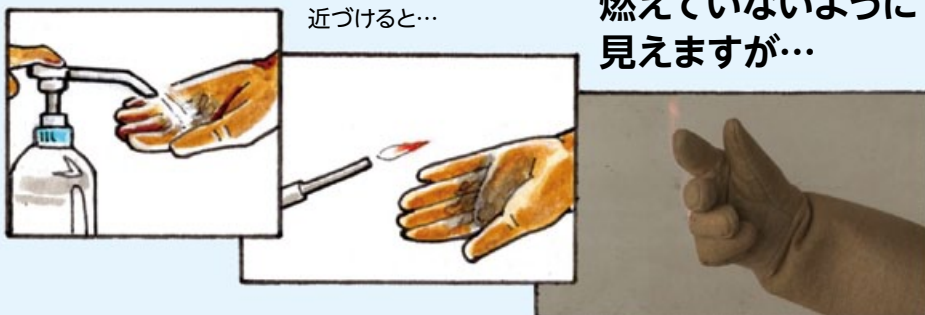
蒸気に引火した炎は見えづらいの。

ポイント

- **アルコールの濃度が60%以上の製品は、消防法で定める危険物にあたり**ます。容器に「第四類・アルコール類」と書かれていたら、危険物です。容器の表示を要チェック！
- 消毒用アルコールは蒸発しやすく、蒸気は引火するおそれがあるため、コンロや喫煙など火気の近くで使うのは大変危険です。**火気のない場所で使いましょ**う。また、保管は直射日光を避けた場所で。
- 消毒用アルコールの詰め替えをする時は、蒸気が滞留する可能性があるため、**換気ができる場所で行いましょ**う。

実験映像

手に消毒用アルコールを吹きつけライターの火を近づけると…



燃えていないように見えますが…

実際の燃焼状況はこちら

アルコールの性質についてはこちら

